

邇摩高校WEBサイト

<https://www.nima.ed.jp/>



発行所
島根県立邇摩高等学校
松風会

〒699-2301
島根県大田市仁摩町仁万907
TEL 0854 - 88 - 2220
FAX 0854 - 88 - 4417



「近況報告」

松風会会長 大島 淳

(昭和46年3月 普通科第22期卒業)

平素より松風会の皆様には邇摩高校の発展のため多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は本校創立百二十周年の諸事業がたくも盛大に挙行されました。渡邊校長先生をはじめ教職員の皆様には立案から準備作業に至る長期間の業務、大変お世話になりました。特に校内幹事の皆さんにおかれましては式典当日まで気の抜けないご苦勞があったと思います。改めて関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

さて、本日は邇摩高校の現役生の活動状況を簡潔にお知らせしたいと思います。生徒諸君は日々、素晴らしい活動をしています。二〇二三年は、石見神楽部、農業クラブ、ビジネス同好会、更に男子弓道部の四部が全国大会出場を果たしました。とりわけ男子弓道部は、二年前の女子弓道部の県優勝に続く快挙です。本校の弓道部は、過去二度の全国優勝の輝かしい実績を残しています。また、

野球部も春の県大会でベスト四入り。優勝校の立正大湊南高校相手に大接戦。一点差負けのゲーム結果ではあったものの、スタンドを久し振りに熱くしてくれました。例年大盛況の邇摩高フェアにおいては、あいにくの荒天に開催が心配されましたが、何とか無事に実施することができました。系列ごとの出し物も工夫され、生徒のお客様への厚い対応も、銀山TV等でも確認することができました。邇摩高校の教育方針の本質は、このような活動にあると確信しています。他にもたくさんお知らせしたいことはありますが、紙面の関係上、またの機会にさせていただきます。

十一月十八日(土)に開催しました。前日からの悪天候で開催が危ぶまれましたが、生徒・来場者の安全を第一優先という目標に切り替えて実施しました。約七百名の方にご来場いただきました。百二十年を振り返る写真コーナーでは卒業生から「懐かしいなあ」と言葉が漏れていました。



創立百二十周年を終えて

校長 渡邊 勝義

松風会の皆様には平素より本校の発展のために、物心両面にわたるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年は創立百二十周年を迎え、予定されておりました全ての記念事業を滞りなく実施できましたことは、皆様のご指導とお力添えのおかげと深く感謝しております。記念式典では、卒業生の皆様からの後輩生徒諸君や邇摩高校教育に対する熱い思いと期待を強く感じました。それは、未来に向けて進む希望と力の創造へつながるものであったと考えます。

さて、学校は子どもたちが、身近な地域を含めた社会とのつながりの中で学び、自らの人生や社会をよりよく変えていくことができる場所ではなく

てはなりません。そのためには、学校が地域社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とのつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境となることが不可欠です。邇摩高校では開かれた環境づくりをめざし、地域社会とのつながりの中で学校での学びを地域社会で生かすことのできる学校教育の展開を柱としています。地域や卒業生の皆様を中心に、地域をあげて子どもの成長を応援し、そこで生まれる絆が推進力となる好循環になるよう今後も一層努力してまいりたいと思います。

邇摩高校は創立二百周年に向けてスタートしました。今後とも皆様方の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。



創立百二十周年記念「邇摩高フェア」

写真で見る 邇摩高校創立百二十周年記念式典



プロによる進行者への発声指導風景



生徒による進行



式典を祝う胡蝶蘭



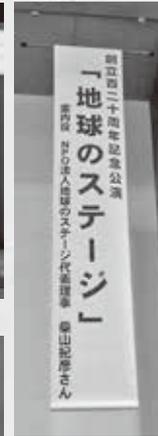
記念式典全景



学校設置者あいさつ (県教育委員会教育長)



渡邊 勝義校長 式辞



井藤 風香生徒会長 あいさつ



受賞者の皆様



生徒による受付



大島 淳会長から原 勝正前会長へ感謝状贈呈



来賓席



来賓控室の様子

支部だより

関東支部だより

「憧れの甲子園」

● 鈴木 留美子

昭和43年 普通科卒



私の高校生活の思い出は何と言っても昭和41年の選抜高校野球大会で甲子園に初出場したことです。当時私は1年生、プラスチック部でクリネットを懸命に練習する毎日でした。ところがその年の野球部が秋の島根大会で怒濤の勢いで勝ち進むと、私たちも応援歌を持って各球場へ出向くことになったのです。時には、授業を抜け出しても先生は黙認してくださいました。すでに全校中が盛り上がるうちに、遂に中国大会では強豪校を抑え優勝したのでした。直後、仁万駅前広場からの凱旋パレードには町中の人たちが集まり、温かい拍手と声援が飛び交う中、4トントラックの荷台に選手、プラスチック部と、仁万から宅野、馬路へとパレードが行われたのは微笑ましい光景だったと思います。

いよいよ甲子園出場が決定した時は、更に歓喜に沸いて大騒ぎとなったことは言うまでもありません。私たちが新しい楽器を数台購入し、応援歌の曲目を増やし「安来節」の関の五本松も追加されて短期間で猛特訓の日々が続いたものでした。

そして憧れの甲子園球場へ。圧倒される雰囲気の中で7回表の校歌斉唱は力強く響いたことでしょう。試合の途中からナイトゲームとなりスタジアムのライトが灯るとグラウンドの選手一人ひとりの上気した姿が浮かび上がって見えた瞬間でした。新聞によりますと、駆けつけた地元町民700人、生徒300人、関西松風会700人他で膨れ上がった大応援団は総勢約2000人にのぼったそうです。惜しくも負けましたが、私たちは次の夏の甲子園に又来らると信じて帰途についたのです。



あれから半世紀余り、私の記憶もあいまいでしたので、元球児のF氏とM氏にご協力頂きましたこと、お

礼申し上げます。

今、私の楽しみの中のひとつはスポーツ観戦です。サッカー、ゴルフ、大相撲等々、特に去年のWBCは痺れる展開に感動の連続でした。これからもスポーツの力を借りて、元気に歳を重ねて参りたいと思っています。

関西支部だより

「故郷を離れて56年

いまだ京都人になれず」

● 小橋 泰 倫

昭和43年 普通科卒



皆さんお元気でお過ごしでしょうか。私は昭和43年に遼摩高を卒業しました。我々の時代は野球部の甲子園初出場、弓道部女子の国体優勝、水泳部においてはほとんどの種目で優勝など部活動も激しく結果を出していた時代でした。卒業と同時に京都に向かいます。働きながらですがどうしても大学に行きたくて立命館大学に入学します。そして何をしながら会社なのか全くわからないまま(株)タクマにお世話になります。ただ会社は遼摩高から毎年受け入れて先輩も多くおられました。1652年創業の絞りを中心にした和装小物、和雑貨の大元メーカーで集散地問屋

を中心に商品を流しいち早く生産拠点を韓国に移した最初の企業です。のちに文革前の中国にから指導し生産地を築き上げます。社員180人。売上げ100億の超老舗企業ですが、まさに番頭さんと丁稚さんとご主人様という江戸の呉服商そのもので上司は身内で固まっています。そんな中で大学卒業時に内定していた会社も断りそのまま仕事を続け専務になります。そして53歳の時にその会社を引き継ぐかどうかの運命的な決断をせまられ起業を決断、その時のエネルギーは並大抵のものではありませんでした。私にはまったく似合わない神頼みもし、願うのは会社の継続のみ。それからあつという間に21年が経ちその神頼みは今でも毎月欠かさず続けています。起業して感じますお金の苦労はなくなりますが、何ものにも代え難い会社という生き甲斐を見つけたことが出来た喜びです。現在は京都府の100年以上続く企業「老舗の会」の会員で当社350年は大関、その上450年が横綱であります。田舎をでて丁度56年。その間多くの経験を積み多くの人と知り合いましたが何故かいまだ京都人にはなれず。京都は風情ある街並み、伝統文化が息づく素晴らしい街ではありますが、私にとっては子どもの頃に遊んだ田舎の風景やそこに住む人々の息遣いが、私の心にずっと残っています。アルバムや写真を見る度にあの頃の思い出が蘇ります。そして、いまだに連絡を取り合う仲間がいることはとても嬉しく感じます。私は仁摩町の出身であること、遼摩高校の卒業生であることに誇りを持っており、今回、寄稿依頼を受け松風会機関紙「松風」に寄せる文章を書く



ことに名譽なことで喜びを感じています。これを機に母校の皆さまがいつまでも繋がりをもち続けることが出来るよう心から願っております。最後に母校遼摩高校の益々の発展と皆さまのご活躍を心から応援しております。

遼摩高校Facebook



<https://www.facebook.com/shimane.nimakou/>

遼摩高校WEBサイトと連動しており、記事をタップすると、遼摩高校WEBサイトの「お知らせ」に繋がります。緊急連絡も掲載しています。

全国大会出場報告

全国高等学校ビジネス計算競技大会

～ビジネス同好会 珠算団体初出場～

- 1年生 春日 優杏さん
2年生 太田 千翔さん
2年生 和田陽菜子さん
3年生 亀島 怜さん



全国高等学校弓道選抜大会

～男子弓道部 団体ベスト16入り～

- 1年生 木村 貫志さん
1年生 三谷 悠斗さん
2年生 赤栗 智志さん
2年生 和田 柊哉さん



日本学校農業クラブ全国大会

農業鑑定競技会(個人出場)
2年生 笠松 奈々さん



全国高等学校総合文化祭

郷土芸能部門(団体出場)
～石見神楽部 奄美大島にて～



令和5年度 松風会年会費会計 決算書

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

I. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget (A), Actual (B), Change (B-A), Remarks. Rows include: 繰越金, 会費, 繰入金, 合計.

収入合計 4,135,687円 - 支出合計 1,886,566円 = 残高 2,249,121円

令和5年度 松風会年会費会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

令和6年1月9日 校内監事 教諭 高下克己
校内監事 教諭 大町清

令和6年1月24日 松風会監査員 塩毛利生
松風会監査員 杉原 慎二

II. 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget (A), Actual (B), Change (A-B), Remarks. Rows include: 会報発行費, 振込手数料, 繰出金, 予備費, 合計.

令和5年度 松風会一般会計 決算書

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

I. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget (A), Actual (B), Change (B-A), Remarks. Rows include: 繰越金, 入会金, 会費, 寄付金, 他会計繰入金, 雑収入, 合計.

II. 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget (A), Actual (B), Change (A-B), Remarks. Rows include: 会議費, 旅費, 支部育成費, 事務費, 会館管理補助費, 全国大会激励費, 他会計繰出金, 予備費, 合計.

収入合計 833,630円 - 支出合計 789,966円 = 差引残額 43,664円(令和6年度一般会計へ繰り越し)

令和5年度 松風会一般会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

令和6年1月9日 校内監事 教諭 高下克己
校内監事 教諭 大町清

令和6年1月24日 松風会監査員 塩毛利生
松風会監査員 杉原 慎二

令和6年度 松風会年会費会計 予算書

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

I. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget (A), Previous Budget (B), Change (A-B), Remarks. Rows include: 繰越金, 会費, 合計.

II. 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, Budget (A), Previous Budget (B), Change (A-B), Remarks. Rows include: 会報発行費, 振込手数料, 他会計繰出金, 予備費, 合計.



事務局からの 連絡

会報松風は、遼摩高校ホームページでもご覧いただけます。
年会費の納入にご協力ください。

http://www.nima.ed.jp/